

21 病棟は先天性心疾患や子どもの神経疾患の治療・検査のため入院していただく病棟です。入院するお子様は生後間もない赤ちゃんから中学生、高校生に至るまであらゆる世代の方がいらっしゃいます。先天性心疾患や神経の病気は子どもの病気の中でも比較的多くみられる病気です。私たち病棟スタッフも日々お子さんたちの看護を通じて新しい知識やスキルの獲得に努めています。

小児センターではここ数年、三次救急医療体制や周産期医療体制が整備されました。21 病棟の子どもたちはその多くの方がPICUやNICUへの入室を経験されることが多く、ご本人にとってもご家族にとっても困難な時期を過ごされた後、家庭へ戻っていただくために、医師や看護師だけでなく、センター内のあらゆる職種の人たちとの協働が欠かせません。保健師、臨床心理士、在宅支援室、リハビリテーション、保育士等本当に多くの人々が子どもと家族がどうすればその人たちにとっての一番身近な街で暮らしていくことができるかを考える日々です。そのために地域の方々と話し合いを持つこともよくあります。

これからも温かくチームワークのとれた病棟を目指して頑張りたいと思います。

心療科部門の診療終了のお知らせ

あいち小児保健医療総合センターの心療科部門の診療は、平成30年3月末を持って終了します。平成30年4月以降は、心身障害者コロニー中央病院にて入院・外来診療を継続することとなります。

保健室よりお知らせ



保健所、市町村保健センター等が閉庁する時間帯に専門相談員が電話で、育児相談や母と子の健康に関する相談をお受けしています。

平成30年4月から
相談日を **火曜日** から **土曜日** まで に変更します。

医療連携室 (患者様をご紹介いただく医療機関の皆様へ)

当センターの医療連携室は、地域の医療機関の皆様との円滑な連携に努め、患者様に専門的な医療を提供しております。

ご利用には「登録医としての登録」と登録医からの「診療申込み」が必要となります。当センターの医療連携室を是非ご利用ください。

TEL.0562-43-0508 FAX.0562-43-0510

URL:<http://www.achmc.pref.aichi.jp/>

受付 火曜日～土曜日

時間 9:00～17:00

祝日、年末年始を除く。土曜日が祝日の場合も受付、ただし、月曜日が祝日の場合は火曜日を除く。

外来診療のご案内

- 外来受付は、A～Dのブロックごとの受け付けになりました。
- 再診の際は、再来機受け付け後、グリーンファイルを各自で取り、診察へお進みください。
- 詳細については、ホームページ等でお確かめください。
- 当センターの受診は、紹介予約制です。お電話にてご予約ください。



予約電話番号 **0562-43-0509** ファクシミリ **0562-43-0510** (9:00～17:00まで)

◆診療時間
午前9時から午前12時まで / 午後1時から午後4時まで

◆休診日
日曜日・月曜日・祝日・年末年始
ただし、月曜日が祝日の場合は火曜日は休診日。土曜日が祝日の場合は診療日

あいち小児保健医療総合センター

〒474-8710 大府市森岡町七丁目426番地
TEL(0562)43-0500 FAX(0562)43-0513
URL:<http://www.achmc.pref.aichi.jp/index.html>



アチエメックの風

あいち小児保健医療総合センターだより



第51号

平成30年 冬 発行

●発行●
あいち小児保健医療
総合センター

診療科トピックス

腎臓科

～ 子どもの腎臓の病気Q & A ～

Q 尿検査で異常があると言われました。本人は元気で普段と変わらないのですが…

A 早期に治療が必要な場合もあります。小児の腎臓専門医にご相談ください。

子どもの腎臓の病気の中には、学校検尿や偶然の機会に発見されてくるものもあります。本人は元気で症状もなく、ご両親からは病気に見えないことも少なくありません。その後のチェックで大きな問題がなければ心配しなくても大丈夫な人もいますが、早期に治療が必要な病気が見つかる場合もありますので、しっかりと見極めるためにも小児の腎臓専門医への受診をお勧めします。

Q 腎臓の病気の治療が必要と言われました。好きなスポーツは続けられるのでしょうか…

A 状態が安定していれば、スポーツも好きなだけ頑張ってください。

昔は体育は見学だった時代もありましたが、今では多くの腎臓病のお子さんに体育もスポーツも普通に参加してもらっています。「好きなことを自由に楽しむことができる」、そのために必要な治療を行っていきます。

Q 子供が慢性の腎臓の病気です。学校や将来はどうなるのでしょうか…

A まず、本来のそのお子さんらしい学校生活や日常生活ができるために何が大切か、一緒に考えていきましょう。

子どもの腎臓の病気の中には、長く上手に病気とお付き合いしていかないといけない病気も少なくありません。あいち小児保健医療総合センター腎臓科では、「そのお子さんらしい子供時代を過ごすことができるように」、そして「将来は、本来のその人らしい大人になること」を常に意識して、お子さんやご家族と一緒に治療方針を考えていきます。



正確な診断のためには「腎生検」という検査を行います。腎臓科では1年間に約50人のお子さんに実施しています。